

科目ナンバリング		U-LAS00 10003 LJ34							
授業科目名 <英訳>		倫理学 I Ethics I			担当者所属 職名・氏名		人間・環境学研究科 教授 佐藤 義之		
群	人文・社会科学科目群		分野(分類)	哲学・思想(基礎)			使用言語	日本語	
旧群	A群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	講義(対面授業科目)		
開講年度・開講期	2026・前期		曜時限	金4		配当学年	全回生	対象学生	全学向
【授業の概要・目的】									
われわれは日々多大なエネルギーを費やして道徳を守っているが、そもそも道徳を守る必要などあるのだろうか。この講義ではこの問いを導きに道徳を考え直してみたい。前期(「倫理学I」)では、この問いの検討の準備作業として、我々の日常的道徳観の整理からはじめる。そののち、この問いへの代表的な解答例を紹介、検討する。(佐藤担当後期「倫理学II」と内容上一連の授業)									
【到達目標】									
上記の倫理学の根本的問題について考えるために、まずカントの倫理思想を詳細に検討し、われわれの日常的倫理観を整理して理解し直す。その上でそれと対立する立場に触れることで、日常的な倫理観を見直す足がかりをえる。									
【授業計画と内容】									
(1) 授業の方法、成績算定法等に関するガイダンス(第1回)									
(2) どうして道徳を守らねばならないのか 問題提起 (第1~3回)									
(3) われわれの道徳観の整理から カントを導きに									
感性と理性(第4回)									
義務(第5回)									
道徳的命令の形式と基準(第6回)									
道徳と目的(第7回)									
カントの検討...行為の結果/感性と道徳(第8~9回)									
(4) 私利のための道徳(ホプズ) ひとつの解答とその検討									
力学的人間観(第10回)									
社会契約説(第11回)									
権利の全面的委譲は必要か(第12回)									
(5) 前期まとめ: 結果論的倫理学と義務論的倫理学(第13~14回)									
フィードバック: 詳細は別途連絡する(第15回)。									
【履修要件】									
「どうして道徳を守らねばならないのか」という、この授業で提起した問題をさらに深めて理解したいひとには、後期「倫理学II」(佐藤担当)の連続した履修を推奨する。									
【成績評価の方法・観点】									
授業時に随時数回、事前の予告なく実施する小テストによる。									
【教科書】									
使用しない									
倫理学 I (2)へ続く									

## 倫理学Ⅰ(2)

### [参考書等]

(参考書)  
授業中に紹介する

### [授業外学修(予習・復習)等]

ノート参照可の小テストを授業時に随時実施するので、それに備えて授業ノートを整理し、復習しておくことが望ましい。

### [その他(オフィスアワー等)]

受講希望者多数の場合は、教室収容人数に応じて抽選により受講者を制限する。(なお、この授業の単位修得者が引き続き今年度後期「倫理学Ⅱ」(佐藤担当)の受講を希望する場合は、優先的に受講を許可する予定である)

### [主要授業科目(学部・学科名)]

総合人間学部